

ドルノゴビ県の荒野化、野生動物の種類が 乏しくなっている諸問題とその原因について

ドルノゴビ県 市民代表者会議 議長
ダムビイ・チュルンバートル

環境状態

ドルノゴビ県の面積は 1090 平方キロメートルで、首都であるオランバートルの東北に位置している。

年間 230 日から 260 日程度は晴れで、降水量は非常に少ない。2003 年の降水量は 1302mm で、2004 年では 659mm、2005 年では 572mm、2006 年では 919mm である。

乾燥については、1971～1980 年間で二回、または 1981～1990 年間で四回、1991～2000 年間で六回、2001～2006 年間で三回という大きな乾燥期がある。その乾燥期において、ドルノゴビ県の乾燥状況がますますひどくなっている。

2003 年では、ドルノゴビ県内の緑色植物の実面積は県東方と南方の 40%～50% を占めていたが、2004 年では緑色植物の実面積は全県面積の 31%～40% にまで下がった。

課題と原因

荒野化の主な原因は、気候の多変性、降水量が少ないこと、乾燥の状態が前からひどいこと、黄砂の流動が激しくなったこと、地球温暖化等々がある。

また、近年、野生動物の種類が少なくなっている原因としては、大まかには以下のようにまとめられる。まず、毎年の乾燥によるもの、そして冬の雪が溶けにくいこと、また、違法な狩猟の存在である。

援助希望

ドルノゴビ県内には全長約 500km の鉄道がある。近年、線路が黄砂に覆われた。それが鉄道の正常運営に影響している。その問題を解決するために、鉄道業務員は毎日次ページの写真のように自分の手で線路の掃除をしている。しかしながら、春になると、黄砂の流動が激しくなり、鉄道業務員の努力だけでは鉄道の運営を確保することができなくなる。したがって、黄砂を掃除する機械が緊急に差し迫って必要である。この黄砂掃除機械について、国際協力、また、本会議の参加者たちの援助が得られたら大変ありがたい。

また、ドルノゴビ県の荒野化を減少する（食い止める）ために、黄砂流動を止めるための計画実施に参加し、協力していただくことをモンゴル国政府から皆様をお願いしている。

